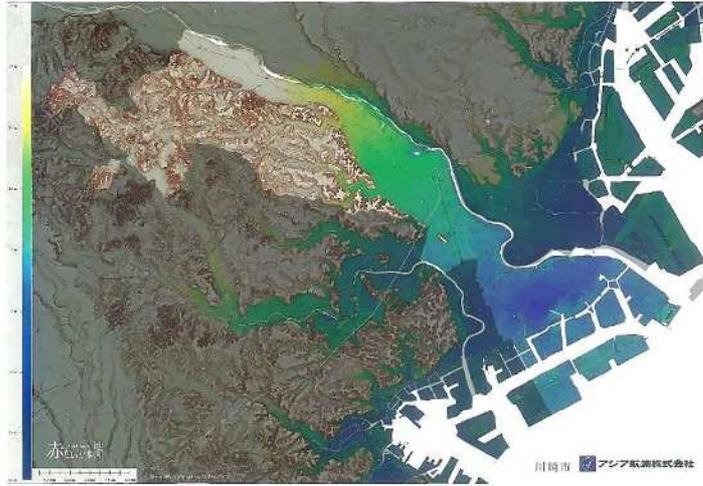


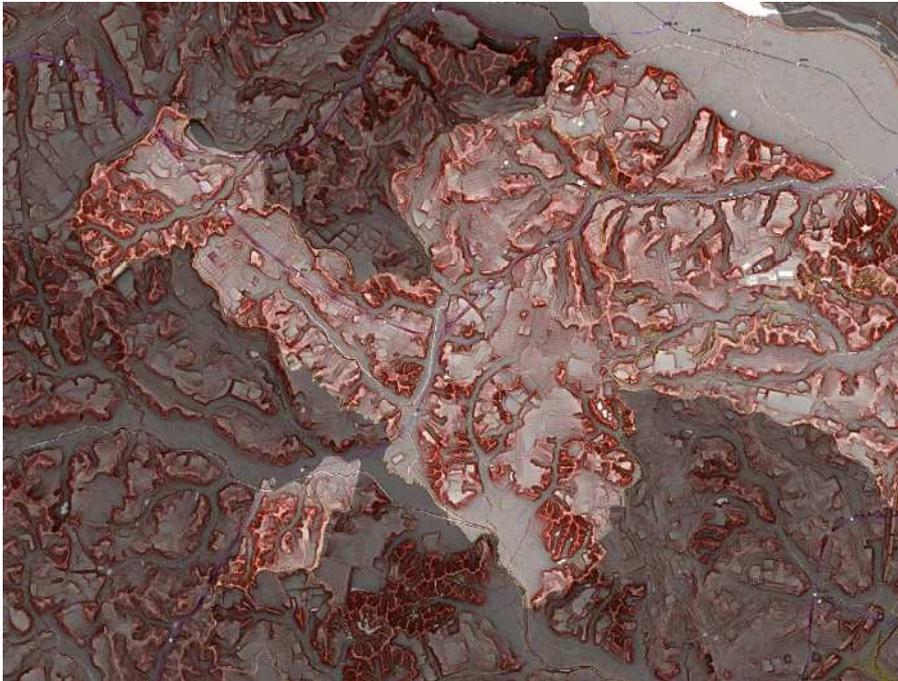
団体名	い あさお生きごみ隊		活動年数	20年6ヶ月
			会員数	11名
活動紹介	活動場所	麻生区古沢の堆肥小屋と畑		
	活動日	毎週 木 曜日 他		
<p>農家とつなぐ家庭生ごみリサイクル</p> <p>●目的</p> <p>① 家庭の生ごみを堆肥化し、ごみの減量を推進する</p> <p>② 農家の畑をお借りして生ごみ堆肥を使った野菜作りを行い、農業への理解を深める。</p> <p>③ 生ごみ堆肥で野菜を栽培し、その野菜を食し、出してしまった生ごみを堆肥とする。この資源循環の輪を作りつつ、豊かな自然と農を守る。</p> <p>●活動内容</p> <p>① 農家鈴木家のご協力により2005年活動を開始した。それぞれの家庭で容器に生ごみにボカシをふりかけ、保管し、堆肥小屋に持ち寄り、種堆肥に混ぜ合わせ、熟成させる。</p> <p>② 2016年度から、容器に保管した生ごみを直接畑の土に混ぜ熟成させる「土ごと発酵」も行っている。</p> <p>③ 鈴木家の畑を借りて野菜を栽培しているが、どちらの方法でも、生ごみ堆肥としての効果を確認した。</p> <p>④ 野菜栽培は全て無農薬・無化学肥料による。2025年には、ジャガイモ、タマネギ、ミニトマト、サツマイモ、パプリカ、キヌサヤ等を栽培し、収穫した。</p> <p>⑤ 今回14回となるかわさき生ごみリサイクル交流会に初回から実行委員を出して参加している。</p>				
				
		サツマイモ収穫 2025年11月	ジャガイモ収穫 2025年6月	
2025年度のトピックス	数年前から若者が生ごみリサイクルに参加するようになった。生ごみ（腐敗防止のためにボカシと混ぜたもの）をジップロックなどの密閉袋に入れて持ってきてもらう。最近では生ごみ堆肥で育てた野菜の収穫にも日程を調整して参加している。			
課題	活動の継続と拡大			
参加の案内	<p>●会員募集中（家庭の生ごみを運んでくることができる方、野菜栽培に興味がある方）</p> <p>●家庭生ごみ堆肥を受け入れます。 関心のある方は下記連絡先へご連絡ください。</p>			
代表者	山崎 優 住所〒215 -0006 麻生区金程 1-10-6 電話・FAX 966-4438			
連絡先	奥山玲子 住所〒215 -0014 麻生区白山 1-2-3-104 電話・FAX 987-7335			

多摩丘陵のまち麻生の凸凹を地図で見よう。

アジア航測株式会社制作 川崎市の赤色立体地図



麻生区の赤色立体地図 提供：アジア航測株式会社 国土地理院発行基盤地図情報を用いて作成



川崎市麻生区のハザードマップに川の名前を大きく入れてみました。



団体名	森もりクラブ		活動年数	21年
			メンバー数	41人
活動場所	向原の里特別緑地保全地区・向原南緑地（通称くじらの森）1.1ha 向原北緑地・向原緑地 1.0ha 麻生区向原2丁目4他			
活動日	定例活動日 第2土曜日 9:30～13:00まで（雨天時翌週の日曜日）			
活動紹介・活動内容	<p>活動を始めた背景・・・地域住民による行政へのはたらきかけと川崎市の支援により、向原の里保全地区の保全が決定されたことで、2004年4月に発足した団体。今年21年を迎える。</p>			
	<p>・年1回の総会で年間計画を策定し各班を中心にメンバー全員で活動する。 ・管理活動班→緑地の管理計画とその実施 ・植生管理班→管理活動計画の提案・調査分析・植物観察 ・ネットワーク班（情報収集と発信）→地域や他の団体との交流・里山歩き・勉強会 森もりフェスタ・金程小学校総合学習・金小フェスティバル ・森もり便り年4回の発行 ・・・</p> <p>*2025年度のトピックス</p> <p>*ナラ枯れによるクヌギ、コナラの大木の伐木→椎茸のほだ木などへの活用・菌打ち *クヌギ、コナラの種子の発芽の試みと苗畑の設置・キンランなどの希少植物の保護 *定期的な下草刈りの実施と植生の多様性の推進 *竹林の管理と利用→七夕の笹、金小フェスタなどへの利用 *椎茸の収穫 *森もりフェスタ・金程小学校総合学習（木の名札作り、落ち葉かき）・金小ふれあいフェスティバル・タケノコ掘り・七夕の笹の地域住民への配布・片平楽農倶楽部訪問・緑の活動団体交流会・丸太の階段作り（川崎市公園緑地協会）・水沢森人の会訪問・全国都市緑化川崎フェア生田緑地出展・森もり便りの発行春号、夏号、秋号、冬号 *植物観察会 *森もりクラブ20周年感謝の集いと記念誌の発行 ・・・</p> <p>課題</p> <p>・ナラ枯れ対策と木の伐木、伐木した木の利用 ・住宅地と共存できる生物多様性豊かな雑木林の再生と維持 ・管理活動だけではなく、様々な活動に参加可能なメンバーの確保</p>			



2025年の活動

コナラの枯れ木と巻き付くクズと伐木



里山フォーラム



キンラン生育調査



北緑地タケノコ



森もリクラブ総会



森もリクラブ20周年感謝の集い



片平楽農倶楽部訪問



金程小学校総合学習



金小ふれあいフェスティバル



森の階段作り



森もリフェスタ

参加上の案内	<ul style="list-style-type: none"> ・体験参加募集中(道具などは用意します) ・チェーンソーによる大木の伐木に興味のある方 ・会員募集中です(年会費 1000 円) 作業日にお声をかけてくださるか、下記へご連絡ください。
代表者	<p>名前 海野 芳彦</p> <p>電話 080-5452-1180 E-mail prs_yoshihiko@hotmail.co.jp</p>
連絡先	<p>名前 宇野 順子</p> <p>電話 080-1049-8715 E-mail unouno831@yahoo.co.jp FAX 044-954-5303</p>

団体名	柿生の里クラブ		活動年数	16年
			メンバー数	33人
活動紹介	活動場所	柿生の里特別緑地保全地区（上麻生7丁目6番、7番）		
	活動日	定例活動日 第2日曜日・第4水曜日 9:30~12:00頃 お互いに連絡を取り合い随意、随時の活動も多い		
【案内】	柿生駅から徒歩10分、浄慶寺隣接の面積19,000㎡の緑地です。			
【動機】	2009年「柿生の里特別緑地保全地区」が都市計画決定され「おっ越し山ふれあいの森」から連続した多摩丘陵の尾根筋のコアとなる場所が残され、「柿生の里散歩道」上の貴重な場所となりました。2010年3月ここを「未来へ手渡す豊かな多摩丘陵」として保全していこう！と「柿生の里クラブ」が誕生しました。			
【内容】	『地域の自然・歴史・文化を活かした昔ながらの里山の再生』を目指しています。			
	<p>《 昔ながらの植生、谷戸地形を大切にしながら、土地の記憶を紐解く 》</p> <p>その昔ここが大きな農家(屋号:大谷オオヤト)の屋敷だった頃の佇まいを今に伝える風景と、次の所有者の植林木や庭の樹々を調査し、この緑地が歩んできた土地の記憶を紐解き、公共緑地としてどのような作業が適切なかの、次世代にどうつないでいくかを見極めて行きたい。</p> <p>《 動植物の復活と多様性を目指した作業 - 生態系の保全と育み 》</p> <p>柿生の街中の自然ですが、野鳥、昆虫、植物など生き物が賑わっています。動植物の記録を取りながら ○アズマネザサ、クマザサなどの下草刈り ○モウソウチクの除伐、間伐 ○樹木の間伐 ○外来雑草の除去 ○落葉で腐葉土作り ○湿性地の保全 ○植物の名札付けと保護 ○庭園木の保全 ○池(人工)の保全などを行っています。</p> <p>《 体験学習・環境学習の場として — 次世代への継承 》</p> <p>里山フォーラム in 麻生と協働で「あさお里山こどもクラブ」、「里地里山ナチュラリスト養成講座」を開催しています。体験学習用畑では資源循環の一貫として腐葉土や灰を入れ込みながら山から畑への土づくりをしています。</p> <p>《 定例活動日などには、緑地の見学・自然観察を歓迎しています 》</p> <p>・川崎市環境功労者賞 ・「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰 ・川崎市市制100周年記念市政功労賞</p>			
2025年度のトピックス	<p>* 柿生小学校5年生の四季を通じた自然体験学習に協力しました。</p> <p>* あさお里山こどもクラブを共催、協力しました。</p> <p>* 孟宗竹の除伐ゾーンの竹の伐採が進みました。</p> <p>* ヤマユリ、ニリンソウ、イチリンソウ、イチヤクソウ、キンランなど貴重種の保全推進。</p> <p>* 枯死木、危険木、倒木が大変多く対応に追われました。</p> <p>* 会の公式 facebook に定例活動の様子を掲載を更新しています。</p> <p>* 富士フィルムビジネスイノベーション KK の 端数倶楽部から寄付を頂きました。</p>			
課題	<p>◆森の安全確保への手立て 安全に作業や体験学習ができるようにしたい。</p> <p>◆庭木の剪定（森の作業で手一杯です。梅、椿、松 etc）禅寺丸柿の古木4本の保全 【行政との協働・支援】 【地域とのつながりづくり】</p> <p>◆当初の四ツ目垣の復活</p>			

〈緑地を植生のゾーンで把握し作業計画〉

【柿生の里クラブ 活動の様子】



【里山子どもクラブ】 遊ぼうパン 落葉掃き→腐葉土へ



【危険木対応】 伐採に立会う 枯死倒木の玉切り 移動



【下草刈り】 【樹木の間伐】 【竹の除伐,片付け】

【柿生小 5年 総合学習-柿生の自然体験学習】
自然観察 竹切り、竹運び、枝おろし



参加上の案内	<p>■体験ボランティア募集中（道具などは用意してます） ■寄付などを受付中</p> <p>■会員募集中（年会費 500 円） 作業日にどうぞ。あるいは下記へご連絡ください。</p>	
代表者	石井よし子 TEL 070-6426-6123	E-mail ishiiyoshiko.works@gmail.com
副代表	雛倉 正人 TEL 090-1215-0979	E-mail GZL12435@nifty.com
副代表	高橋 靖 TEL 090-4398-5513	E-mail otmariners@gmail.com

団体名	まちはミュージアムー遊歩道ファンクラブ (管理運営協議会 おっ越し山クラブ)		活動年数	27.5年
			メンバー数	10人
背景	活動場所	おっ越し山とその周辺および(柿生の里特別緑地保全地区)		
	活動日	定例活動 第1水曜日、第3水曜日(第2日曜日、第4水曜日)ほか随時		
背景	<p>「おっ越し山ふれあいの森」は、1995(平成7)年に自然環境保全地域に指定され、「柿生の里の散歩道」の丘陵への入口となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 麻生区初の遊歩道「柿生の里の散歩道」の自然と歴史を次世代に繋ぎたい。 2. 都市開発が進み地形の改変が顕著になり、多摩丘陵としての暮らしの原風景が消えて行く中で、「おっ越し山ふれあいの森」がご寄付で残されたことに感謝したい。 3. 地域に残されたおっ越し山であったが、アズマネザサとヒサカキに覆われ暗い森になっていて、子どもたちにも親しまれていない状況を何とかしたい。 4. 麻生地域セミナー1990-1997(街かど探偵団～まちはミュージアム)で横浜市の舞岡公園での市民の関わり、多摩市の桜ヶ丘公園雑木林ファンクラブの活動などを現地で見学、また「麻生区で子どもが遊べる公園を考える会」の長年の活動を経ていた。 5. 川崎市という公共の土地に将来にわたり身の丈で責任が持てる所を考えたい。 <p>などの思いが、仲間の賛同と協働を得て1998(平成10)年9月活動開始。</p>			
活動内容	<p>2001(平成13)年3月に策定された「おっ越し山の森づくり保全管理計画書」に基づき活動を継続。【■もともとあった里山に近づける ■緑のネットワーク ■循環利用 ■歴史性を再現する】おっ越し山でご縁を繋いだ方の民有地が柿生の里特別緑地保全地区となる。</p> <p>森づくり ヒサカキの間伐、アズマネザサの草刈りを今もなお継続している。</p> <p>場づくり 小さな広場が4か所あるが、ベンチのなかった2ヶ所に柿生の里の孟宗竹でベンチを作ったところ、みんながホッと休憩する場所となった。人の手が入っているという安心感も醸成されたようで、ごみが減少し、いたずらも減った。そして私たちには通りすがりではない「まちの当事者」としての意識が高まった。</p> <p>花壇づくり 入口部分は草木も生えない瓦礫埋め立て場所であった。瓦礫を撤去し落葉の堆肥を入れながら土を作り、野の花壇にした所、道行く人との会話が弾む。カラムシ、ジュズダマも保全し環境学習に役立っている。</p> <p>自然の復活 適度なお世話をすると自然からの贈り物があることを体験し作業継続の力となる。自生のヤマユリが多く復活しキンラン、ギンラン、キバナアキギリ、シュンラン、オカトラノオ、ヤマホトトギスなどを楽しむ。</p> <p>活動資金を得たことで 2001年都市緑化基金に応募し「第1回花王みんなの森づくり活動助成団体」に選定された。里山活動をしていくための道具や倉庫の購入が出来、看板を作って地域への広報が可能になった。また里山フォーラム in 麻生を立上げてみようという力になり、麻生市民館に提案し現在に至っている。</p> <p>励みとなった賞 ・川崎市環境功労者賞 ・麻生区花と緑のコンクール奨励賞 ・神奈川県自然保護功労者賞(2011年) ・みどりの愛護功労者国土交通大臣賞(2014年)</p>			
2025年度のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・危険木の伐採が進み、残置木が増え、裸地が目立つようになってしまった。 ・麻生区ふれあい公園に参加しジュズダマなど大好評でした。 ・あさお里山こどもクラブの第3回は葉っぱや実で大いに楽しみました。 ・ベンチ塗り替え、階段補修。 			



市街化区域に残された「緑の小舟」
柿生の歴史環境保全地域ともいえる場所
次世代につなごう



何もなかった場所にベンチ、腐葉土置場、倉庫、納屋が並ぶ小さな広場に。アズマネザサに覆われていた斜面には山野草が復活。手作り看板、野の花壇でホッ。



小さなお山であるが自生のヤマユリの開花が増え、見事である。



苗木を植え、実生を育て、雑木林の復活を願う。→ 落葉掃き↓



おっ越し山ふれあいの森

尾根道は中世の山城を結ぶ道
畑へ通う道
通勤、通学、生活道路
歴史をたどる道
みどりをつなぐ道



課題	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいなーと誰でもやれるように工夫した会のあり方の工夫。 ・実生を育て、雑木林の復活を目指す。・山野草を絶やさず、増やすことに努める。 ・柿生中学校、近隣町会とのつながりづくり
参加上の案内	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会員募集 ■ 体験ボランティア募集 ■ 寄付歓迎 作業日にお声かけくださるか、下記へご連絡ください。
代表者 チーフ	石井よし子 TEL 070-6426-6123 E-mail ishiiyoshiko.works@gmail.com 瀧孔一郎 TEL 090-9235-1214 上條正雄 TEL&FAX 044-989-8751 石井信 高部由美子 清水眞子 宮河悦子 植田聡子

団体名	花と市民参加の会 “コスモス”		活動年数	30年
			メンバー数	17名
活動紹介	活動場所	川崎市麻生区白山4-6地先 白山3号線 (白山西緑地脇) (むじなが池公園北側の一方通行道路沿い)		
	活動日	定期活動、月1回(第2火曜日午後) 自主活動随時		
	<p>400mの一方通行道路で、ケヤキの植え込み、歩道脇緑地を花壇にして草刈り、種まき、水やり 清掃などをして季節ごとの管理をしています。</p> <p>この道路は元々雑草の生い茂る暗い道で、粗大ごみの不法投棄もあり治安上も不安な場所でした。当団体を結成する10年前から5~6人の有志で活動していましたが、行政と連携して活動するために2002年9月 花と市民参加の会”コスモス”を結成しました。</p> <p>400mと長い活動地域なので4ブロックに分けグループごとにエリアと担当して活動しています。</p> <p>現在、年々草花が根付いてきて景観が整ってきたことにより、散歩やジョギングのコースとして写真の撮影スポットとして近隣の方々に親しまれています。</p>			
2025年度のトピックス	初めての試みとして、6/24 川崎市公園緑地協会の方を講師にお招きして 一般参加可能なあじさい剪定講習会を開催しました。例年行っている、ケヤキの落ち葉清掃回収ですが、川崎授産学園さんに回収していただいています。腐葉土にしてもらって花壇に培養土として利用しています。			
課題	水道がないので、夏の水やりなどが大変苦労しています。 ケヤキの根元の堅い土壌の改良 参加者の固定化、高齢化			
参加上の案内	<input checked="" type="checkbox"/> 会員募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 体験参加者募集中(受入れ態勢あり) <input checked="" type="checkbox"/> 寄付金などの受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前	吉村利子	住所	〒215-0014 川崎市麻生区白山 5-1-8-206
	電話	986-9475		
連絡先	名前	川名慶子	住所	〒215-0014 麻生区白山4-5-1-404
	電話	090-6158-636		

2025年 花と市民参加の会 “コスモス”



4/22

川崎授産学園から
腐葉土搬入作業



6/3

道路公園センター職員との
現地交流 話し合い

6/24

アジサイ剪定講習会



9/30

黒土搬入

11/11

花苗搬入 植え付け



団体名	吹込クローバーの会		活動年数	14年
			メンバー数	14名
活動紹介	活動場所	麻生区上麻生4丁目 尻手黒川線 吹込交差点花壇と緑地帯 (274 m ²)		
	活動日	第2・第4土曜日 2時から & 天候により随時メール発信		
	<p>【活動を始めた背景】</p> <p>吹込花壇は川崎市による「緑の景観づくり推進事業、王禅寺地域のみどりの軸線づくり」として2004年度に整備され、2009年から一部の花壇で生ごみ堆肥による実験栽培を始めました。従来担っていたグループが解散しましたので「木こりの会」女子4名が中心になって2011年4月に「吹込クローバーの会」を結成しました。以来、小さいながらも地域の緑の回廊としての役目を担っています。</p> <p>【活動内容】</p> <p>ダンボール堆肥を活用し、無農薬で管理する安心・安全な花壇作り</p>			
	  			
2025年度のトピックス	<p>宿根草を増やし、植替えの苗を減らしています。それでも植替え時に発生する抜いた花苗をご近所の方や他の花壇グループに再利用してもらうことができ嬉しいです。</p> <p>植替えで抜いた苗、花柄、雑草などは木枠コンポストで堆肥化し、土の再利用に努めています。</p>			
課題	活動は花壇だけでなく敷地内の200 m ² の植栽帯の管理も行っているのでメンバーが増えること。			
参加上の案内	<input type="checkbox"/> 会員募集中 <input type="checkbox"/> 体験参加者募集中 (受入れ態勢あり) 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前 阿部 貴紅子 E-mail 8kkiba-19721@ezweb.ne.jp			
連絡先	同上			

団体名	虹ヶ丘おやじの会		活動年数	26年
			メンバー数	17名
活動紹介	活動場所	虹ヶ丘公園		
	活動日	毎月第2週、第4週		
	<p>活動を始めた背景 1998年に虹ヶ丘コミュニティルームを開設し地域の男性達が「飲み会」を機会に「地域にできる事を」と翌年公園の清掃活動を始め、街路樹、花壇作りや手入れなど始めた。</p> <p>活動内容 例年通り地域安全、安心をテーマに掲げ公園内の低木、草刈り、高木の伐採等活動をしています。 昨年は、虹ヶ丘小学校全校生徒さんと地域ふれあい授業を行いました。 「地域とともに歩む学校」「社会に開かれた教育課程」活動内容でした。</p>			
2025年度のトピックス	<p>虹ヶ丘小学校全校生徒さんと、公園一斉美化活動で清掃をいたしました。平日に関わらず、地域のPTCA 保護者の参加もあり、公園が大変きれいになりました。</p> <p>「虹ヶ丘小学校50周年記念」において、感謝状をいただきました。</p> <p>おやじの会として、学校授業に貢献できた事に満足し、これからも頑張ります。来年度も活動を継続します。</p>			
課題	<p>毎年課題になっておりました桜の植え替えが、かないました。</p> <p>数十本の桜を12月に伐採して、2月に植樹を小学校生徒さんと行います。（桜は地域住民にとって、憩いの場所です。）</p>			
参加上の案内	<p>昨年、おやじの会に地域の小学校の生徒さんが、おやじの会に特別会員として作業を手伝ってくれております。なかなか手際も良く将来が楽しみです。</p> <p>半年後、お父さんと、もう一人の弟さんが、入会され3人が活躍してくれています。まだまだ、会員を増やしたいところです。</p> <p>ホームページをご覧ください。https://n-jjgaoka-oyajim.do.free.com/</p>			
代表者	名前 佐々木 昭男 電話 987-0894	住所 麻生区虹ヶ丘3-1-406 E-mail : sasagcy@nifty.com		
連絡先	名前 児玉 俊臣 電話 986-9155	住所 麻生区虹ヶ丘1-3-1 E-mail : nbyaj@jcom.ne.jp		

施設名	就労継続支援B型事業所 があでん・ららら		活動年数	30年
			メンバー数	約30名
活動紹介	活動場所	川崎市麻生区下麻生3-32-5		
	活動日	があでん・ららら(月~金) 喫茶店「ハーブカフェ ららら」(木・金)		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>があでん・らららは、精神障がいのある方が利用する就労継続支援B型の事業所です。精神障がいのある人が自らの望む暮らしを実現するために、平成8年4月に、市民団体「ASA健康井戸端会議」が、園芸農家から温室と家屋を借り、多くの地元ボランティアの支援を受けてスタートしました。現在は「社会福祉法人 SKYかわさき」が引継いでいます。</p> <p>活動内容</p> <p>働きたい、就労したいという利用者それぞれの目的に合わせて、ハーブティー製造、焼き菓子製造、園芸、クラフト製品づくり、喫茶店業を通して仕事の提供や訓練をおこなっております。</p> <p>また、イベントや喫茶店「ハーブカフェ ららら」を通して地域の人々と触れ合いながら、地域に根差した活動に取り組んでいます。</p>			
2025年度のトピックス	<p>今年度も、があでん・ららら主催のイベントとして5月18日に「ハーブまつり」を、12月4日から25日にかけて「クリスマスマーケット」を開催しました。ボランティアの皆様や出展者の皆様のご協力もあり、地域の多くの方々にご来場頂きました。この場をお借りし御礼申し上げます。があでん・らららがこの地域に育てられ、今も親しまれながらこの地域にあることの尊さを、強く実感しています。</p>			
課題	<p>「があでん・ららら」の活動を通して、精神障がいのある人が自ら望む暮らしを実現するため、人と人がつながりあえるように地域の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。</p>			
参加上の案内	<p>各種活動のボランティアでお力添え頂ける方を募集しております。興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	<p>名前 鶴田 裕</p>			
連絡先	<p>名前 があでん・ららら 住所 〒215-0022 川崎市麻生区下麻生3-32-5 電話 044-989-8323 FAX 044-322-8637 ホームページ https://www.sky1995.com/shop/cafe.html インスタグラム @herbcafe_lala</p>			



団体名	早野聖地公園里山ボランティア		活動年数	27年
			メンバー数	73名
活動紹介	活動場所	麻生区早野 早野聖地公園内 炭焼き小屋周辺		
	活動日	毎月第1・3・5 土曜日、ただし炭焼き期間(12月～1月)は毎週土曜日		
<p>活動を始めた背景</p> <p>川崎市で里山ボランティア募集・活動を始めた第1号の里山ボランティア団体です。</p> <p>活動方針</p> <p>里山を将来にわたり、保全・管理し、地域振興と早野の文化を継承していき、人と自然との共生を図る。</p> <p>活動内容 (*印=紹介カード-2に活動写真あり)</p> <p>1.里山再生=伐って育てる森(里山の若返り)⇒生物多様性の向上を図る。</p> <p>ナラ枯れ対策=優先順位(落枝・倒木防止による事故防止のため)をつけて通路側・林地内がほぼ完了、*下草刈り・篠竹刈り、清掃、苗木の育成と植樹・萌芽更新等で里山の若返りを図る。循環利用(炭焼き・*キノコ類栽培)湿地帯の管理、動植物の保護、昆虫類の寝床(冬眠)・繁殖地の確保</p> <p>2.炭焼き(伐採材の活用)循環利用⇔SDGsの積極的な参加と炭素の固定化実施</p> <p>原木の伐採→炭焼き(竹炭含む)、炭を利用した湿地帯水質浄化、*トイレの消臭剤として利用、苗圃・畑の土壌改良、*炭焼き窯の補修作業</p> <p>・毎年炭焼きを実施、年間に炭素(C)を1000Kg以上固定化し地球温暖化防止に努めています。</p> <p>3.農業体験</p> <p>畑・花壇の手入れ、*サツマイモ、ジャガイモ、*椎茸・ナメコの栽培、大規模ナノハナ畑=作成</p> <p>4.地域とのふれあい</p> <p>1. 各種支援=東柿生小、*虹ヶ丘小、犬蔵小、*返子開成中・高等学校=里山講座、カリタス、東京農業大学GA講座の支援・交流会、冬の自然を楽しむ会、*麻生区役所グリーンツーリズム、*かわさき市民アカデミイ里山講座、あさお古風七草粥の会=炭の提供、*早野町内会=どんど焼き/やぐら組立作業</p> <p>2. 出展=第43回あさお区民まつり、ネクサスチャレンジパーク(NCP)早野へ各種支援、里山フォーラム in 麻生 など</p> <p>3. 企画 お彼岸バザー×春秋2回、BBQ大会</p>				
2025年度のトピックス	<p>東柿生小=里山学習・下草刈り体験・卒業植樹、*虹ヶ丘小=苗の植付～サツマイモ掘り・*創立50周年記念式典、犬蔵小=竹細工、*トイレの消臭用炭の提供(川崎市役所(12カ所)、*麻生区役所/秋のグリーンツーリズム *あさお里山子どもクラブ(早野の自然に出会い竹や木を切る)出展活動=第43回あさお区民まつり、NCP 早野など</p>			
課題	特になし 会員の高齢化に伴い作業の機械化・自主講習会等、活動日を楽しく会員も増加傾向です			
参加上の案内	<p>会員募集中 随時入会受付=活動日に直接現地(炭焼き小屋)にお越し下さい。</p> <p>年会費=1000円 活動時間=9:45～15:00 <input checked="" type="checkbox"/>会員募集中 <input checked="" type="checkbox"/>里山体験・見学など</p>			
検索	「早野聖地公園里山ボランティア」で検索 (写真・活動記録・動画も多数あります)			
代表者	小林 昌幸 電話 090-4810-3000			
連絡先	<p>小泉 清 電話 044-987-0020 FAX 044-987-0020</p> <p>E-mail shirkobo@com.homene.jp</p> <p>事務局 早野聖地公園霊園事務所 電話 044-987-6120 FAX 044-986-0813</p>			

団体名 早野聖地公園里山ボランティア

活動紹介写真

1.里山再生＝伐って育てる森(里山の若返り)⇒生物多様性の向上を図る

下草刈り/市民アカデミー講座 2025.05.1

下草刈り＝逗子開成中学校の皆さん 2025.07.05.



2.炭焼き(ナラ枯れ材の活用)＝循環利用(今後炭焼きを手順を順次紹介します)

窯の補修(内外) 2025.09.27.

消臭用炭の設置＝市役所内12カ所 2025.06.24.



3.農業体験

虹ヶ丘小＝苗の植付～サツマイモ掘り 2025.10.21.

シイタケ菌の駒打ち

2025.04.05.



4.地域とのふれあい

虹小/創立50周年記念式典 2025.11.09.

秋のグリーンツーリズム/主催/区役所 2025.10.11.



早野町内会＝どんど焼き/やぐら組立作業 2026.01.10.

施設名	麻生市民館 岡上分館		活動年数	昭和41年5月～
			ｽﾊﾞｰ数	職員5名
活動紹介	活動場所	麻生市民館岡上分館および岡上地域 他		
	活動日	通年（年末年始、休館日を除く）		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>麻生市民館岡上分館は、周りを町田市と横浜市に囲まれた全国的にもめずらしい飛び地にあり、大正時代は岡上分教場、昭和22年からは柿生小学校の岡上分校があった場所です。館内にはその歴史を紹介するパネルも掲示されており、地域の歴史とともに歩んできた施設です。今年度も、岡上地域（歴史・文化・自然など）を知り、発信する事業を行い、地域の方の学びと交流の場として親しまれています。</p> <p>活動内容</p> <p>【令和7年度事業紹介】</p> <ol style="list-style-type: none"> シニアの社会参加支援事業「絵本の読み聞かせボランティア講座」 家庭・地域教育学級「思春期と向き合う保護者のためのガイド2」 市民自主企画事業「民話と巡る岡上古道」 市民エンパワーメント研修「キミのチカラを生かしてみないか！」 区地域課題対応事業「こどもサマーカレッジ」、「おかがみサブカル・カレッジ」、「こどもサイエンスカレッジ」 地域コミュニティ交流・学習事業「軽スポーツ&レクリエーションで健康&笑顔に」 現代的課題学習事業「リアルな体験から学ぶ親子防災講座！」 <p>※社会教育施設として「集い・語り合い・つながり合い」の部分を大切に、幅広い世代交流が行われるような講座を企画しています。</p> <p>※市民の方々が地域のことに目を向けると共に、一人一人の持てる力を引き出し、地域とつながり、学びを還元していくことができる講座づくりに努めております。</p>			
2025年度のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する講座を企画。参加者が講座内容に関連した成果物を12月に開催した麻生区総合防災訓練に出展し、来場者に紹介することで学びを共有。 ・区の地域課題対応事業において、和光大学と連携し、年間3回の講座を企画し、小学生から高校生まで幅広い年齢層に対し学びの場を提供。 ・ポッチャ大会を岡上で初開催。年齢層、生涯の有無に関係なく岡上地域だけでなく、区内他地域の方との交流の場を企画。 ・岡上地域の伝統を学び、その学びを紙芝居にして地域に紹介することで、学びを共有し、今後の活用のために保存した。 ・絵本の読み聞かせ技術の習得に加え、認知症予防の観点も加えた講座を、他機関とも連携して企画。想定を上回る申込を得た。 ・2026年度からの指定管理制度移行に向けて、館内環境の整理、改修を進めた。（「展示スペース」を新たに運用開始） ・2026年度から麻生市民館等の運営を担う指定管理事業者が決定。（「あさお・未来共創パートナーズ」） 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・岡上分館を幅広い世代の方々に知っていただき、利用してもらうこと。 ・サークルや団体同士が交流を持ち、会の継続や発展につなげていくこと。 			
連絡先	<p>名前 村野 民樹 住所 〒215-0027 麻生区岡上3-15-5</p> <p>電話 044-986-0268 FAX 044-986-0472</p> <p>E-mail 88okaga@citykawasaki.jp</p>			

講座名	内容	様子
<p>シニアの社会参加支援事業</p> <p>絵本の読み聞かせ ボランティア講座</p>	<p>読み聞かせ技術を身につけながら、健康づくりや脳の活性化、仲間づくりに役立つ。また、読み聞かせ活動による地域貢献・世代間交流を推進し、新たな生きがいづくりを目指す。</p>	
<p>家庭・地域教育学級</p> <p>思春期と向き合う 保護者のためのガイド2</p>	<p>思春期の子どもの持つ保護者が直面する問題について学び、家族のコミュニケーションを円滑にし、安心して子どもの成長を見守る親となることを目指す。</p>	
<p>市民自主企画事業</p> <p>民話と巡る岡上古道</p>	<p>岡上地域に伝わる4つの文化「妖怪ミカリ婆さん」「どんど焼き」「セエノカミ」「岡上古道」について専門家の話を聞くことにより、地域の文化・歴史についての理解を深める。</p>	
<p>市民エンパワーメント研修</p> <p>キミのチカラを 生かしてみないか！</p>	<p>何かやってみたいけど、一步を踏み出せていない若者たちが、本当に自分のやりたいことを見つけて行動につなげることを目指す。</p>	
<p>区地域課題対応事業</p> <p>①こどもサマーカレッジ ②おかがみサブカル・カレッジ ③こどもサイエンスカレッジ</p>	<p>①親子で参加する学びや体験を通して、子どもの知的好奇心や地域への関心を育み、大学生との交流や地域のつながりを深めることを目指す。(鶴見川生物観察+恩廻公園地下トンネル見学、理科実験)</p> <p>②中高生を対象に、身近なサブカルチャーをテーマに物事の考察の方法を知ること、学校とは違う学びを体感することを目指す。(「アニメ・マンガを学問する！」)</p> <p>③地域の祭りと同様開催し、和光大学と連携して子どもに学びと交流の場を提供し、知的好奇心と地域行事への関心を育むことを目指す。(理科実験等)</p>	 <p>①生物観察の様子</p>  <p>①理科実験の様子</p>
<p>地域コミュニティ交流・学習事業</p> <p>軽スポーツ&レクリエーションで健康&笑顔に</p>	<p>一人ではできない軽スポーツやレクリエーションを人と交流しながら行うことで、出会いや気づきを得て、新たな活動につなげることを目指す。</p>	
<p>現代的課題学習事業</p> <p>リアルな体験から学ぶ 親子防災講座！</p>	<p>避難所に見立てた夜の岡上分館で、実際に被災した状況を想定し、避難所の雰囲気を経験することで、いざという時に必要な心構え等を知り、行動につなげることを目指す。</p>	

名称	岡上分館；岡上郷土誌資料コーナー		活動年数	19年 平成18年開設
紹介	開館日	通年（第1、第3月曜と年末年始を除く）		
	<p>・旧岡上郷土誌会（会長 宮野薫、当時）では平成18年（2006）に岡上地区の皆様の協力を頂き、岡上の歴史・文化を網羅した『郷土岡上』を発行しました。郷土誌会の「収集した全資料は川崎市に寄贈して一般の利用に供したい、岡上の資料は岡上の地で保存されることを願う」といった思いを岡上分館が受け止め、分館の図書室に岡上郷土誌資料コーナーが設置されました。</p> <p>・ここには岡上地区の歴史・文化調査には必須の資料類が集積されています。収集資料のまとめとして編集発行された冊子『郷土岡上』が道案内です。</p> <p>・最近の郷土誌会の活動・学習の成果も、引き続きファイルしております。</p> <p>・利用時間は午前9時から午後4時50分です（お問合せください）。</p>			
連絡先	住所 〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 麻生市民館 岡上分館2階 図書室内 電話 044-988-0268			

団体名	岡上郷土誌会		活動年数	14年
			会員数	8人
活動紹介	活動場所	おもに麻生市民館岡上分館。テーマによっては現地		
	活動日	定例研究会は第3金曜日午後1時30分から		
	<p>旧岡上郷土誌会では平成18年（2006）に岡上地区の歴史的な史資料を収集して、テーマ別の100を超えるファイルを作成しました。それらの資料の数々は岡上分館の郷土誌資料コーナーに収められ、一般に公開されています。</p> <p>当会はそれらの資料を引継ぎ、活用しつつ「岡上の歴史と文化、自然に親しむこと、また次世代に伝えていくこと」（会則より）を目的としております。</p> <p>おもな活動（1）岡上関連の資料類を収集・整理し、資料コーナーに追加保全する。 （2）学習会や講座などを開催し、その記録集を刊行する。</p> <p>活動にあたっては、岡上分館をはじめ地元町会や学校等との協力・協働を大切にしています。</p>			
2025年度の活動	<p>・毎月第3金曜日（原則）の定例会を継続しています。</p> <p>・岡上郷土誌会を知って頂き、活動をつないで行こうと、岡上分館の図書室ひろばプロジェクトとして「暮らしと歴史の自由な広場 しゃべり場」を設けました。</p> <p>・川崎市市民ミュージアムに問合せ、ミュージアムの所蔵庫の水没によって不明になっていた「梶家文書」のマイクロ製本が有ることが分かりました。また被災した古文書も継続して救出する方針であることが確認され、一同安堵しています。</p>			
代表	梶 睦子			
連絡先	住所 〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 岡上分館気付 事務局電話 070-6426-6123（石井）			

施設名	和光大学地域連携研究センター 地域・流域共生フォーラム		活動年数	17年3ヵ月
			メンバー数	10名
活動紹介	活動場所	和光大学キャンパス、岡上地域、鶴見川流域、その他		
	活動日	オフィス開室は平日、活動日は週末も含み不定期		
	<p>2008年度に和光大学の取組「流域主義による地域貢献と環境教育」が文部科学省「質の高い大学教育プログラム(教育GP)」に選定され、学内に地域・流域共生センターを設置。2016年の和光大学地域連携研究センター設立に伴い改組した学内機関が本フォーラムです。拠点であるG307室内では岡上で見られる水生動物の生態や標本展示をしています。</p> <p>文部科学省『人材認証制度のニーズ及びマッチングに関する調査貢献』調査報告書(2014)でも、先進事例として紹介されています。私たちは学内外に向けて、おおむね次の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・流域プログラム」を通じた実践的な環境教育の推進 <p>全学の学生を対象に、本学の教育理念とカリキュラム横断型の単位取得制度を生かし、持続可能な社会の「新しい公共」を支える環境シチズンシップ教育を推進し、日本でここだけの「流域環境士」資格を認定しています。環境教育指導者養成の資格認定講習会を年に数回開催し、都市部ならではの「足もとの自然」へのまなざしと、安全に楽しく自然と交流し地域の自然の質を高める実践力を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・流域共生フォーラム」による地域貢献と活動支援 <p>学生と地域の住民・行政・NPOをワンストップで結ぶ拠点・窓口です。自然環境の保全や生物調査、川の掃除など学生の自主活動支援のために機材の貸し出し等を行うほか、行政等と連携して、子どもたちのための教育支援活動や自然観察会などの社会教育の機会を学生とともに地域に提供しています。</p> <p>「岡上丸山特別緑地保全地区管理活動」</p> <p>2013年の川崎市緑地保全条例指定をきっかけに川崎市役所・岡上小学校・和光大学(地域・流域共生フォーラム)が三者協定を交わし、管理計画のもとで整備を進めています。2024年に川崎市制100周年を記念し、川崎市に貢献されてきた方々を表彰する記念表彰が行われた際に、岡上丸山特別緑地保全地区での活動が評価され、「未来賞」に岡上小学校・和光大学が選ばれました。</p>			
2025年度のトピックス	親子自然体験学習(麻生区共催事業)や、RAC(川の指導者養成)講習会、環境教育プログラム「プロジェクトWET」のリーダー講習会、チェーンソー・刈払い機の安全講習会を開催しました。			
課題	地域・流域プログラムおよび各種資格講習会の、より効果的な広報を通じた受講拡大。流域環境士有資格者の活躍の場づくり。川の生き物観察等の野外活動については、今後も十分な感染対策を工夫しながら引き続き開催したいと考えます。			
参加上の案内	年に数回行っている各種の環境教育指導者資格認定講習会は、市民の方も受講可能な場合があります(テキスト代実費)。ご関心のある方は、地域・流域共生フォーラムのホームページやブログ記事(下記URL)をご参照下さるか、直接お問い合わせください。 https://www.wako.ac.jp/cooperation/research-center/region.html			
代表者	名前 岩本陽児 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp			
連絡先	名前 齋藤透 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp			